

統合再生プロジェクト2：西丹沢1



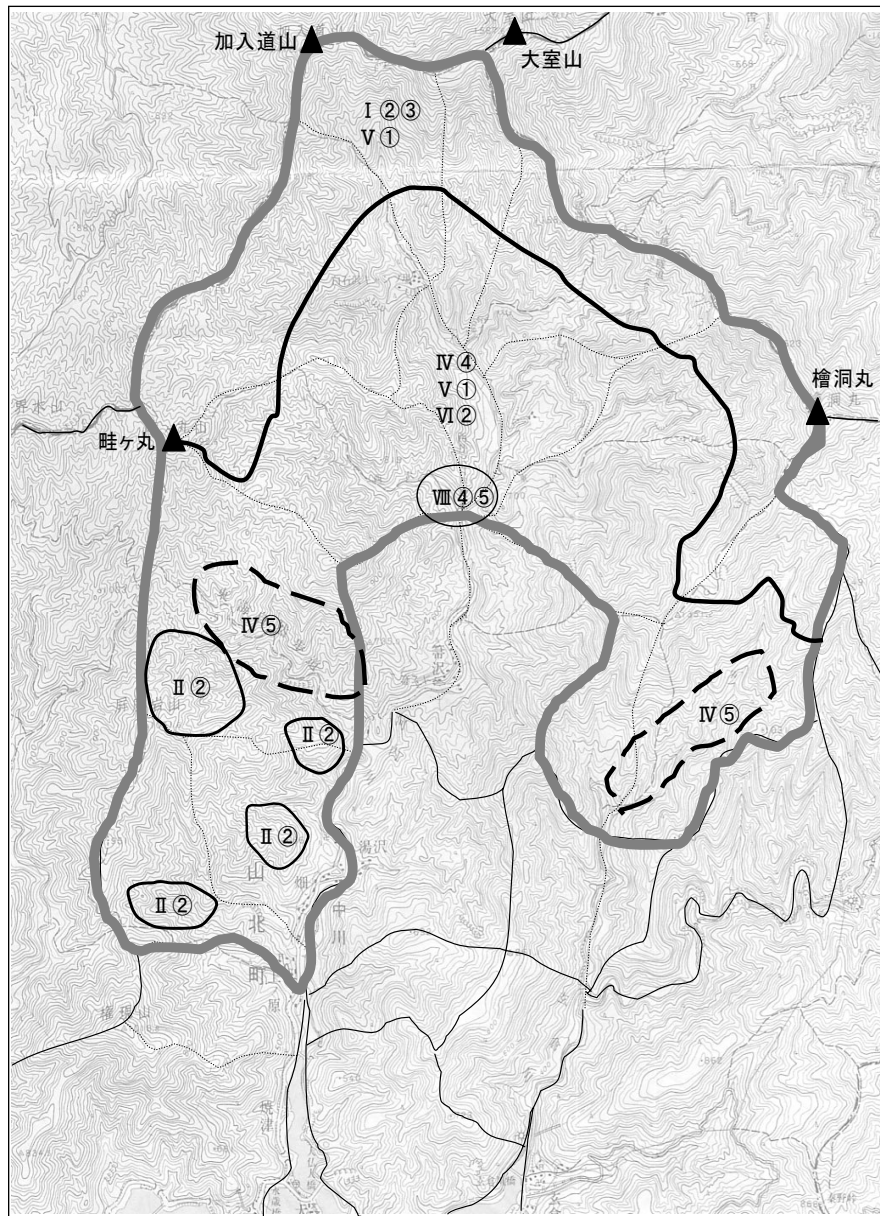
本流域は、シカの採食による林床植生の衰退が目立ち、ヤシャイノデ・ヒダサンショウウオといった希少野生動植物への影響が懸念されています。

奥山域では、植生保護柵により、希少植物の生息環境を確保し、種の保存を図ります。

山地域では、人工林の森林整備を行い林床植生の回復を行うとともに混交林化を図ります。

渓流域では溪畔林整備や、森林土壌の流出の抑制を図るほか、人工構造物の改修による水生生物の生息環境改善を目指します。

<目標指標>	(現在)	(5年後)
最大林床植生劣化レベル	最大IV	→ III未満
シカ生息密度	最大 13 頭/km ²	→ 5 頭/km ² 未満



統合再生プロジェクト2 西丹沢1 における事業の内容（5ヶ年計画）

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
I. ブナ林の再生	②	ブナ林保護対策工法の開発	試験・研究
	③	ブナ林衰退機構の解明	衰退地の観測

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
II. 人工林の再生	②	公益的機能を重視した混交林等への転換	46.0ha

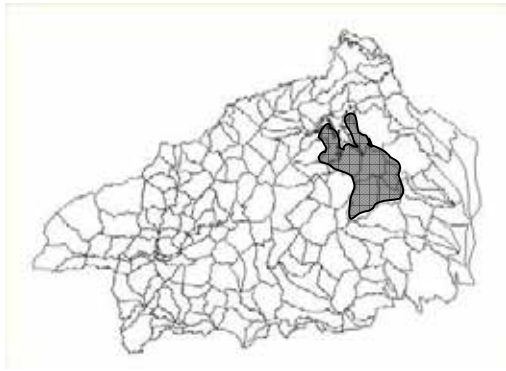
特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
IV. 溪流生態系の再生	④	溪流生態系重点保存地区の検討	検討・策定
	⑤	溪畔林の整備	15.0ha

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
V. シカの保護管理	①	シカの個体数調整	5頭/km ² 未滿

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
VI. 希少動植物の保全	②	絶滅危惧種・希少種等の保護・回復	0.9ha

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
VIII. 自然公園の適正利用	④	山岳エコツアーリズムの推進（山岳エコツアーリズムの担い手育成人数）	山岳エコツアーガイド 24名
	⑤	エコツアーリズム普及拠点の機能拡充 ～西丹沢自然教室の整備～	1拠点

統合再生プロジェクト3：東丹沢2

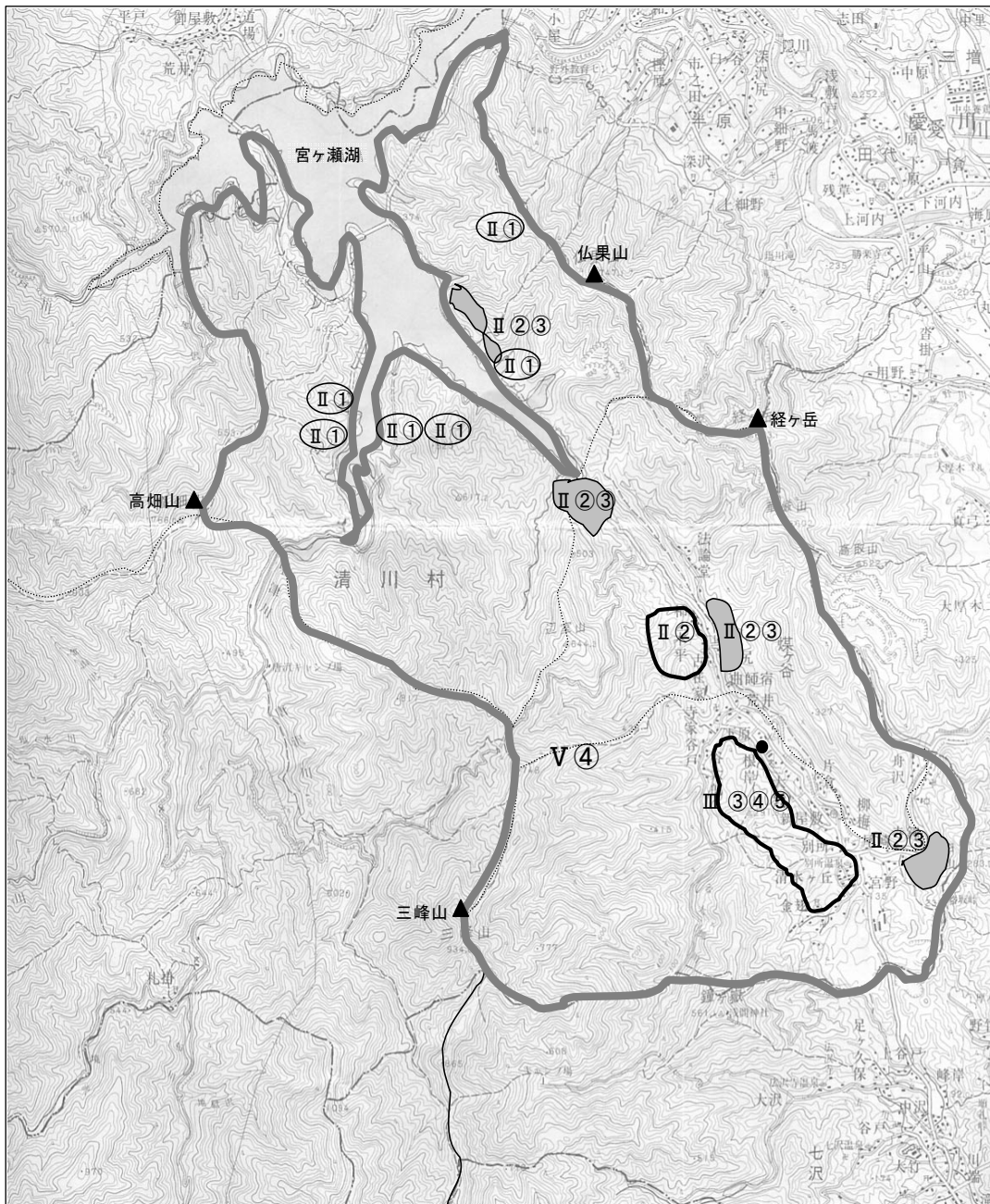


東丹沢の清川村の小鮎川流域およびその周辺では、野生動物による農作物への被害やヤマビルによる人や家畜への吸血被害が多発しています。

山地域では、積極的な森林整備に取り組み、林床植生の回復を図り、野生動植物の生息環境の改善を図ります。

里山域では、シカの管理捕獲や獣害防護柵を計画的に設置し、野生動物が生活環境に近づきにくい環境を整備するほか、ヤマビル対策も含め総合的な取組を推進します。

<目標指標>	(現在)	(5年後)
農地周辺の野生動物の状況	農地周辺の定着	農地周辺での野生動物定着解消



統合再生プロジェクト3 東丹沢2 における事業の内容（5ヶ年計画）

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
Ⅱ. 人工林の再生	①	森林資源の活用による持続可能な人工林の整備（支援）	40ha
	②	公益的機能を重視した混交林等への転換（支援）	103ha
	③	森林管理と連携したシカの個体数調整の推進	適正密度の検証

構成事業名欄の「〇〇〇（支援）」の記載は、県からの財政支援による市町村事業を示す。

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
Ⅲ. 自然資源・地域資源 を活かした地域の 自立とつながりの 再生(地域の自立的 再生)	③	獣害防護柵の計画的設置（支援） ～イノシシ対応獣害防護柵の検討・改良～	改良延長 21km
	④	ワナ等による被害増加地域における計画的捕獲（支援） ～農業者へのワナ講習会及び捕獲の実施～	捕獲の実施 講習会 5回
	⑤	地域主体の野生動物被害対策（支援） ～ヤマネル 被害対策事業・共同研究の実施～ ～イノシシ等 野生動物 有害鳥獣捕獲の実施～	被害対策の 実施・支援

構成事業名欄の「〇〇〇（支援）」の記載は、県からの財政支援による市町村事業を示す。

特定課題名	番号	構成事業名	5年間の数量等
Ⅴ. シカの保護管理	④	シカの定着解消のための個体数調整の実施 ～有害鳥獣捕獲の実施～	定着解消

